

2ポートHDMI®自動スイッチ – 4K / 4ポートHDMI®自動スイッチ – 4K

VS221HD4K / VS421HD4K

DE: Bedienungsanleitung - de.startech.com

FR: Guide de l'utilisateur - fr.startech.com

ES: Guía del usuario - es.startech.com

IT: Guida per l'uso - it.startech.com

NL: Gebruiksaanwijzing - nl.startech.com

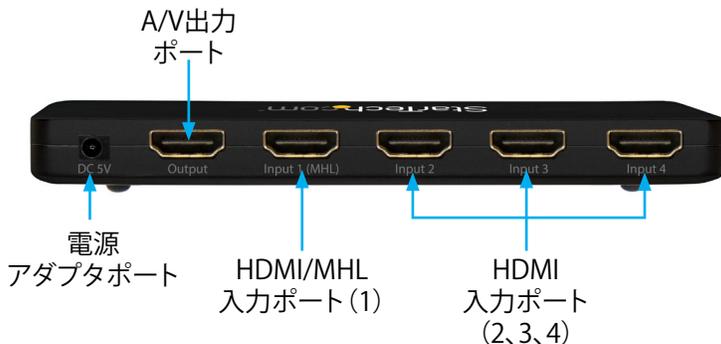
PT: Guia do usuário - pt.startech.com

製品概要

フロントビュー - VS421HD4K



リアビュー - VS421HD4K



*実際の製品は写真と異なる場合があります

パッケージの内容

- 1x HDMIスプリッタ (VS421HD4K / VS221HD4K)
- 1x IRリモートコントロール
- 1x 電源アダプタ (北米/EU/英国/オーストラリア規格対応)

動作環境

- 1x HDMI対応ビデオソースデバイス (HDMIケーブル付き) (Blu-rayプレーヤー、コンピューターなど)
- 4x HDMI対応ディスプレイデバイス (ケーブル付き) (テレビ、プロジェクタなど) – VS421HD4K
- 2x HDMI対応ディスプレイデバイス (ケーブル付き) (テレビ、プロジェクタなど) – VS221HD4K

インストール手順

注意: インストールを始める前に、HDMI対応ビデオソースデバイスとHDMI対応ディスプレイの電源が切れていることを確認してください。

1. 1本のHDMIケーブル (非付属品) でHDMIソースデバイスのHDMI出力ポートとHDMIスイッチ (VS221HD4Kは最大2つ) (VS421HD4Kは最大4つ) のHDMI入力ポートを接続します。

注意:

- 各ポートには番号が振られています。各HDMIソースデバイスに割り当てた番号を控えておいてください。
- 入力デバイスのひとつがMHLベースの信号を使用している場合、そのMHLソースデバイスをポート1へ接続してください。

2. 1本のHDMIケーブル (非付属品) でHDMIスイッチの出力ポートとHDMIディスプレイデバイスに接続します。
3. HDMIディスプレイ、HDMIソースデバイスの順番で電源を入れます。
4. 付属の電源アダプタで電源とHDMIスイッチの電源アダプタポートを接続します。
5. これで、HDMIスイッチをお使いいただく準備ができました。

動作

手動操作

手動モードにすると、押しボタン操作によってビデオソースを切り替えることができます。

ボタン選択による手動操作

スイッチ前面の入力選択ボタンを押して各ビデオソースデバイスを切り替えます。ビデオソースが切り替わると起動ポートのLEDインジケータが点灯するので、どのポートが選択されているのかが分かります。

リモートコントロールによる手動操作

リモートコントロールのL1、L2、L3またはL4を押してHDMIポート1、2、3、または4をそれぞれ切り替えます。

自動操作

HDMIスイッチには、最も最近起動された、またはHDMIソースデバイスに接続されたデバイスを自動的に選択する自動操作機能が備わっています。

新しいデバイスを接続するか、すでに接続されているデバイスの電源を入れるだけでビデオソースの切り替えを自動的に行います。

EDIDエミュレーション

本スイッチにはEDIDエミュレーション機能が搭載されているため、接続したビデオソースデバイスに合わせて最適なディスプレイ設定を選ぶことができます。EDIDディスプレイ設定はスイッチがポート1から順に使用状況をチェックして検出した最初のポートに基づいて選択されます。EDIDディスプレイが定義されると、その他のビデオソースデバイスからのすべてのEDID情報は無視されます。以下の手順に従ってEDID選択を指定してください。

1. スイッチから電源を外します。
 2. ディスプレイと共有したいEDID設定を持つビデオソースを決定します。
 3. 決定したEDIDビデオソースをHDMIスイッチのポート1に接続します。このソースビデオは常に接続状態にしておいてください。
 4. 残りのビデオソースをスイッチに接続し、スイッチの電源を入れます。
- これでEDID設定がセットされました。

注意: スイッチを再起動したり電源が落ちたりすると、EDID設定は再スキャン&再選択されます。選択したEDID設定が失われるのを避けたい場合は、EDIDディスプレイを常にポート1に接続しておくことを推奨します。

FCC準拠ステートメント

本製品はFCC規則パート15のBクラスデジタルデバイスに対する制限を遵守しているかを確認する試験にて、その準拠が証明されています。これらの制限は、住居環境に設置された場合に有害な干渉から合理的に保護するために設計されています。本製品は無線周波数エネルギーを発生、使用、放出し、指示に従って取り付けられ、使用されなかった場合は、無線通信に有害な干渉を与える可能性があります。一方、特定の取り付け状況では、干渉が起きないという保証を致しかねます。本製品がラジオやテレビ電波の受信に有害な干渉を発生する場合（干渉の有無は、製品の電源を一度切り、改めて電源を入れることで確認できます）、次のいずれかまたは複数の方法を試すことにより、干渉を是正することをお勧めします：

- 受信アンテナの向きを変えるか、場所を変える。
- 製品と受信アンテナの距離を離す。
- 受信アンテナが接続されているコンセントとは異なる回路を使うコンセントに本製品を接続する。
- 販売店か実績のあるラジオ/テレビ技術者に問い合わせる。

本デバイスは、FCC規格Part 15に準拠しています。お使いの際には、次の注意事項をよくお読みください。(1) 本デバイスが有害な干渉を引き起こすことはありません。(2) 本デバイスは予想外の動作を引き起こす可能性のある干渉も含め、すべての干渉を受け入れなければなりません。StarTech.comにより明示的に承認されていない変更もしくは改変を行った場合、本デバイスを操作するユーザー権限が無効になる恐れがあります。

インダストリーカナダ準拠ステートメント

本クラスBデジタル装置はカナダのICES-003に準拠しています。
CAN ICES-3 (B)

商標、登録商標、その他法律で保護されている名称やシンボルの使用

本書は第三者企業の商標、登録商標、その他法律で保護されている名称やシンボルをウェブサイト上で使用しますが、これらは一切StarTech.comとは関係がありません。これらの使用は、お客様に製品内容を説明する目的でのみ行われており、StarTech.comによる当該製品やサービスの保証や、これら第三者企業による本書に記載される商品への保証を意味するものではありません。本書で直接的に肯定する表現があったとしても、StarTech.comは、本書で使用されるすべての商標、登録商標、サービスマーク、その他法律で保護される名称やシンボルは、それぞれの所有者に帰属することをここに認めます。

テクニカルサポート

StarTech.comの永久無料技術サポートは、当社が業界屈指のソリューションを提供するという企業理念において不可欠な部分を構成しています。お使いの製品についてヘルプが必要な場合は、www.startech.com/supportまでアクセスしてください。当社では、お客様をサポートするためにオンライン工具、マニュアル、ダウンロード可能資料をご用意しています。

最新のドライバやソフトウェアは、www.startech.com/downloadsからダウンロードできます。

保証に関する情報

本製品は1年間保証が付いています。

また、StarTech.comは、資材や製造工程での欠陥に起因する商品を、新品購入日から、記載されている期間保証します。この期間中、これら商品は修理のために返品されるか、当社の裁量にて相当品と交換いたします。保証で適用されるのは、部品代と人件費のみです。StarTech.comは商品の誤用、乱雑な取り扱い、改造、その他通常の摩耗や破損に起因する欠陥や損傷に対して保証いたしません。

責任制限

StarTech.com Ltd. やStarTech.com USA LLP (またはその役員、幹部、従業員、または代理人) は、商品の使用に起因または関連するいかなる損害（直接的、間接的、特別、懲罰的、偶発的、派生的、その他を問わず）、利益損失、事業機会損失、金銭的損失に対し、当該商品に対して支払われた金額を超えた一切の責任を負いかねます。一部の州では、偶発的または派生的損害に対する免責または限定的保証を認めていません。これらの法律が適用される場合は、本書に記載される責任制限や免責規定が適用されない場合があります。